

とにかく冒険が好きです。

22 歳の時に、自転車で「日本一周」を敢行したのを最初に、その二年後の 24 歳には背中にバックをひとつ背負い、バックパーカーとして世界約 30 カ国を旅行しました。

旅行資金はあまり持っていないので、行く先々の街で仕事を探し、それで得た金を旅行資金にして、北極のオーロラを見たり、アメリカ・カリフォルニア州の砂漠の中をバイクで飛ばしたり、今、世界中を騒がしている中東諸国も回りました。

ヨーロッパを回っている時、スペインのある町なかで、腕を掴まれ裏口に引っ張り込まれそうになったことがある。それを「二カ条」の技で極めて難を逃れたこともあるという。

世界旅行をする前に「群馬杉武館」で合気道を少しは習っていたのが役立ったことになる。

その当時は「小手返し」などの初期の基本技程度しか知らなかったが、合気道というのは役に立つ護身術だと感じたという。

合気道への入門は 1994 年だったが、世界旅行から帰ってきてからは本格的に合気道を稽古した。黒帯になったのは 1999 年だが、その後 2009 年 37 歳の時に五段を取得して、今では杉武館の中心メンバーのひとりとして、若い人たちや子供たちを指導している。

上井さんの曾祖父が、群馬県藤岡市とか埼玉県内で、柔術道場(もしかしたら合気道?)を開設していたと言うから、その血筋からして武道が好きなのかもしれない。

趣味は、海釣り、キャンプ、ハーレーに乗ってのバイクツーリングなどのアウトドアが好き。

仕事は自動車修理を専門にした「はなまる自動車」を設立し、社長として活躍している。

当時の養神館新宿道場から畳を貰い受け、杉武館のみんなで自動車工場の二階を手作り改造して、約 80 畳の道場を完成させた。道場名は「はなまる道場」。

残念ながら数年前の東日本大震災の影響で継続は困難になり、現在はそのまま空き家にしてある。

玉村町の中心を通る、旧・354 号国道は「例幣使街道」として歴史的に有名である。

その昔、京都から例幣使がこの街並みを通り、日光の東照宮にまで通じている街道として栄えた。

今は、隣接地域に会社や工場が多く、外国人も多く住んでいる。

そのため「国際交流カフェ」として、日本の文化である合気道を外国人たちの前で披露した。

前列向かって左が「上井さん」
(国際交流カフェのイベントより)



息子「琥太郎君」の一カ条抑え

